

【樹木・草花の部屋】

キササゲ（ノウゼンカズラ科キササゲ属

Catalpa ovata)

和名；キササゲ(木大角豆) **別名**； **英名**；Yellow catalpa、 Chinese catalpa

シソ目 落葉高木

原産地；中国 **花言葉**；夢心地 **花の色**；



← **写真－1** キササゲの樹形

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック(Innsbruck オーストリア)にて

撮影者：Mさん

王宮庭園で見かけました。インスブルック旧市街にある王宮の向かいにある庭園です。庭園と言っても、ヨーロッパ特有の幾何学的な構成ではなく、自然風庭園と言った感じの公園？で市民憩いの場になっているようです。一見、ランの仲間かな？と思われる花が目につきましたが、樹木。高さ5-10m。中国原産ですが日本各地の河川敷など、湿った場所に野生化した帰化植物。



← **写真－2** キササゲの花

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック(オーストリア)にて

撮影者：Mさん

花期は6-7月。枝先に長さ10～25cmの円錐花序をだし、淡い黄色の内側に紫色の斑点がある花を10花ぐらいを円錐状に咲かせます。



写真－3 キササゲの花

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック(オーストリア)にて

撮影者：Mさん

【樹木・草花の部屋】

写真－4

キササゲの枝

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック(オーストリア)にて

撮影者：Mさん



←写真－5

キササゲの葉

撮影日：2013年7月17日

撮影場所：インスブルック(オーストリア)にて

撮影者：Mさん



果実は細長いさく果で、長さ 30～40cm の線形。

果序の軸から垂れ下がる。種子は長さ 8～10mm の

扁平な長楕円形。ササゲ（大角豆）に似るのでキササゲ（木大角豆）と呼ばれるそうです。種子は、非常に発芽率がよく日本の各地に広く分布するようになり、中国原産と言われていますが、特に各地の河畔に野性化するようになったようです。

葉は対生または3輪生。葉は長さ 10～25cm、やや三角形の広卵形。浅く3～5裂し、全縁。先は短く尖り、基部はハート形。葉柄は長さ 5～20cm。葉の付け根の方に濃い紫褐色の蜜腺がある。

<ちょっと一言>

キササゲその同属植物トウキササゲ(学名 *C. bungei*) の果実は日本薬局方に収録の生薬「キササゲ」。これは梓実（しじつ）ともいい、利尿作用がある。伝統的な漢方薬ではほとんど使わず民間薬的なものだそうです。

ちなみに 馬見丘陵公園には椿（ツバキ）、榎（エノキ）、楸（ヒサギ）、柗（ヒイラギ）*と1年を表す木が植えてあるゾーンがあります。*今は枯れてしまい無いですが。

ヒサギ（楸）は、

アカメガシワの古名・トウダイグサ科の落葉高木。

キササゲの古名・ノウゼンカズラ科の落葉高木。

両方の説があるようです。